

市民ネットワークちば

発行責任者 坪井はるか 湯浅美和子

湯浅美和子(美浜区) 長谷川ひろ美(花見川区) 小西由希子(中央区)

編集・発行 市民ネットワークちば 〒260-0013 千葉市中央区中央 4-10-11 TEL043-201-2551 FAX043-223-7701

(県議・川本幸立(緑区)は2面に)



私たちの代理人として議会に送り出しています

常賀かづ子(稲毛区) 福谷章子(緑区) 山田京子(若葉区)

待ったなし! 議会改革

前市長逮捕、その5カ月後には市議会議長が逮捕、という異常事態。これは千葉市政の惨憺たる状況を浮き彫りにするものでした。市議会では、この事件を契機に議会改革の動きが加速しています。今こそ私たち市民が声を上げて、真に民主的な市議会を実現することが必要です。

—懲りない議会—

逮捕された小柳前議長は、恐喝未遂容疑しかも暴力団との関係が報道されています。3年前にも市立高校の工事で職員に圧力を加え変更を迫り、この時は小柳氏の議会運営委員長職の辞職勧告決議案が提出され、1票差で否決となった経緯があります。

—オープンな手法での議長選挙に—

何故こんな人を議長にしたのか、議会の責任が問われて当然です。市民ネットワークは、「議長の選出は、本会議場において所信を表明したうえで投票するというオープンな手法で、一人一人の議員が結果に責任を負うやり方」と主張してきました。しかし、今回も、最大会派の幹事長経験者が議長になるという慣例で、

自民・公明・新生ちばの投票多数で決定されたものです。これまでの反省を踏まえ、次回から議長選挙の見直しを図るため、検討が始まります。

—お飾りでない政治倫理条例を—

前市長が収賄容疑で逮捕された問題では、熊谷市長のもと、市長の政治倫理条例、職員倫理条例が検討されています。議会としても、議会初日の「議会と市政の信頼回復に関する決議」で政治倫理条例を作ると明言し、議長選挙のやり方と政治倫理条例について協議するため、来年の3月を目途に『議長・副議長等会議』が設置され、10名の参加で検討中です。

地位を利用して行つてはならない不正な行為、金品の授受、契約や職員への圧力などについて厳しい倫理基準を示すと共に、市民調査請求など市民がチェック出来るものにするなど、実効性のある条例にしていきたいと考えています。会議は原則公開です。ぜひ傍聴をし、ご意見をお寄せください。

【市議会議員 長谷川ひろ美】

—稲毛区補欠選挙—

区民の怒りはどこ?

前議長逮捕・辞職を受けての市議会議員補欠選挙(10月25日投票)の結果は、投票率25・12%という低さ。予想しつつも、そうあつてはならないと、議会改革の第一歩としての選挙の意味を必死に訴えたが、かなわなかった。「地方議会は何をやっているかわからない」「関係ない」「どうでもいい」。議会と市民との関係が見えず、前議長の事件の後、あきれはてた市民の怒りを呼び起こすことは出来なかった。議会改革が叫ばれて久しいが「市民にとっての議会改革のメリットは何?」と聞かれる。私たちの税金の使い道の決定権を持つ議会。貧困の実態が浮き彫りにされる中で、議会が市民と真剣に意見交換し、開かれた場でまっとうな議論をし、政策決定していくことの大切さをこれからも愚直に訴えていきたい。金田由希さんを擁立した市民ネットワークの挑戦は成功しなかったが、新しい人脈の発掘というかけがえのない成果を得た。再出発!

【市民ネットワークちば共同代表 湯浅美和子】



驚いた! 議長選挙

議長逮捕の4日後に開会した9月議会初日。冒頭、副議長が謝罪の言葉を述べ、小柳議員の辞職願が全会一致で許可された。辞職の理由は「一身上の都合」である! さらに驚いたのは議長選挙。傍聴者には誰が立候補しているのか示されないまま投票が行われた。当然立候補者の演説もない。佐々木議員(新政ちば) 31票、布施議員(民主) 20票、鈴木議員(無所属) 1票で、佐々木議員が新議長に決定した。このようなやり方は実に変である。立候補者各々、議長逮捕というこの事態と今後の議会の在り方をどう考えるか。この場で表明すべきだ。その後議会運営委員長から「議会と市政の信頼回復に関する決議」が発議されたが、「信頼回復」とか「襟を正し」とか抽象的な言葉が連なるばかりで、事態を深刻に受け止めているようには思えず、市民感覚と乖離していることをつくづく感じた。

【花見川区 K】

もっと緊張感を!

私の初傍聴は代表質疑の日でした。議員からの質問、市長及び担当職員の回答とも、あらかじめすり合わせ済みだそう、早口で読み上げるような状態。資料など何も持たない一般市民が聞いても、右の耳から左の耳へと通り抜けるだけでした。これでも以前よりはだいぶ改善されたそうですが…。そして、双方の「セリフ」を聞いているだけの議員を見れば、「自分は本日出席なし」との安心感からか、靴を脱いで椅子にふんぞり返る者あり、居眠りする者あり…。居眠り議員の肩を持つつもりはありませんが、こんな内容では眠くなるのも当たり前だと思いましたが、質疑のあり方の見直しも必要ですが、市民の方も自分が選んだ議員がしっかりと働いているか。できるだけ傍聴に行つてチェックし、議会に緊張感をもたらしましょう。

【稲毛区 高橋】

市議会は とも変